

埼玉県生協連 2019 年度第 3 回活動委員会

日時	2019 年 12 月 12 日 (木) 14 時 30 分～16 時 00 分
場所	市民会館うらわ 7 階会議室
出欠	別紙参照
次第	1. 出欠報告 (事務局)

■議題

専務理事あいさつ

I. 話したいこと

1. 12/12 組合員活動交流会ふりかえり	当日口頭
2. 彩の国ドリームフェスタ (11/16-17) ふりかえり	事前資料 P 1
3. 台風 19 号災害関連	事前資料 P 2- 7
4. 埼玉県生協連が取り組む年間スケジュール	事前資料 P 8-10
5. 11-12 月活動報告書と各会員生協資料	当日別冊

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

当日別冊

III. 確認したいこと

1. 埼玉県生協連 2019 年度上期まとめと下期課題	事前資料 P11-20
2. 埼玉県食品安全局及び関東農政局との懇談について	当日資料 P 1
3. 1/17 助け合い活動交流会について <u>再掲</u>	事前資料 P21
4. 次年度の埼玉県消費者大会に関する報告 (第 7 回実行委員会報告)	事前資料 P22
5. 県内消費者団体地区別研修会ご案内	事前資料 P23-24
6. 2/12JA 女性組織協議会との早春交流会ご案内	事前資料 P25
7. 2/28 第 2 回組合員学習会ご案内	当日資料 P 2
8. 会員生協にお願いする集約の項目について	当日資料 P 3- 4
9. 埼玉県生協連「情報」の配信方法の変更と項目の追加について	当日資料 P 5
10. 埼玉県生協連ホームページリニューアルについて	当日資料 P 6

IV. 報告したいこと

1. 業務報告	
(1) 埼玉県生協連 11 月度のまとめと今後の課題	当日資料 P 7-10
2. 個別報告	
(1) 3 都県連共催「福祉事業公開学習会」(10/11) 報告	事前資料 P26-27
(2) 第 2 回災害対策委員会 (10/31) 報告	事前資料 P28
(3) 埼玉県委託事業 埼玉県生協役職員研修会 (11/21) 報告	事前資料 P29
(4) 第 55 回埼玉県消費者大会関連	
① 埼玉県との懇談会 (11/28) 報告	当日資料 P11
② 市町村における消費生活関連事業調査報告	当日別冊
(5) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会 (11/6) 報告	事前資料 P30
(6) ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の取り組みについて	当日資料 P12

V. 報告したいこと②文書報告

1. 埼玉県生協連 2019 年度第 2 回活動委員会 (10/17) 報告	事前資料 P31
2. 埼玉県生協連 2019 年度第 3 回理事会 (11/21) 報告	事前資料 P32
3. 市民新電力「彩の国でんき」(仮称) 設立をめざす集いご案内	事前資料 P33
4. 活動日誌と予定	当日資料 P13-15

2019年度 第3回活動委員会 (12月12日)

メンバーと出欠 (敬称略)

生 協 名	氏 名	役 職	出欠	備 考
埼玉県生協連	吉川 尚彦	会長理事	○	
同上	大久保美紀	常務理事	○	
コープみらい	境 由華	理事	○	
同上	本多 達	参加とネットワーク推進部 部長	○	
パルシステム埼玉	佐藤 節子	理事	○	
同上	石川 誠	組織運営部 部長	○	
生活クラブ生協	下川 美紀	理事	○	
同上	中村 泰介	活動推進部活動広報課	○	
医療生協さいたま生協	高橋 順子	理事	○	
同上	牛渡 君江	統括部長	○	代理：村崎郁子
埼玉県労働者共済生協	塩崎 輝幸	事業推進部 部長	○	
東都生協	荒井 伸幸	組織運営部 部長	欠	
事務局	加藤 一彦	事務局長	○	
同上	清水 勤	事務局	○	
同上	清水 桂	事務局	○	
同上	青木 和彦	事務局	○	
日本生協連中央地連	大田 英夫	担当事務局	○	

埼玉県食品安全局及び関東農政局との懇談について

12月12日 埼玉県生協連

1. 提案の内容

(1) 埼玉県食品安全局との懇談

日時 2020年1月30日14時～15時30分予定

会場 埼玉県庁周辺

出席者 埼玉県消費者団体連絡会幹事及び会員生協から1人

懇談テーマ CSF豚コレラ、食育について

(2) 2. 関東農政局との意見交換会

日時 2020年3月17日～19日のいずれか、13時30分～15時予定

会場 関東農政局会議室さいたま新都心予定

出席者 埼玉消団連幹事団体及び会員生協から若干名 全体で30人程度

グループ交流も予定

テーマ ゲノム編集についてで調整中

2. 出席者について

埼玉県食品安全局との懇談については、1月10日まで

関東農政局との懇談については、2月末日までに、事務局清水 桂まで、役割とお名前をお知らせください。

第2回組合員学習会ご案内

2019年11月27日 埼玉県生協連

1. 提案の趣旨（目的）

- (1) SDGsを単なる課題としてではなく、本当に達成すべき目標としてとらえ、企業も含めた社会全体の変革と一人一人の行動の変革につなげることが求められています。中でも、深刻と言われているプラスチック問題の現状について学び、問題の本質を考える機会とする学習会を開催します。
- (2) プラスチック問題についての現状と今何をすべきかなど、広く共通認識を持てるような場とします。

2. 提案の内容

- (1) 日時 2020年2月28日（金）10時～11時50分
*当初提案した年間日程から変更になっています
- 会場 浦和コミュニティセンター第15集会室
- テーマ 「SDGsの国内展開とプラスチック問題」（仮）
- 講師 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
循環型社会システム研究室室長 田崎智宏さん
- 対象 地域で組合員活動に関わり、運営・サポートをされている方
地域づくりなどをすすめている組合員のグループメンバーなど
役職員
- 定員 130人

3. 提案の補足

- (1) 当初、第2回組合員学習会のテーマは、第1回組合員学習会での「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」報告会を受けて、現状の取り組みの広がりを選び、地域で先進的に子ども食堂や学習支援などに取り組む団体の講演を予定していましたが、プラスチック問題に関する学習会を要望する声があったことから、変更し、計画しました。
- (2) プラスチック問題については、第55回埼玉県消費者大会の環境分科会でも（一社）JEANの小島あずささんにお話しいただき、自分に何ができるか考える機会となりました。また、1月から2月に県内4会場で開催される県内消費者団体地区別研修会でも、プラスチック問題の講演とワークショップを行い、問題を自分ごととして認識し、これからの行動を変えるきっかけとしていきます。

（参考）

- ・ 講師の田崎智宏さんは、2013年より日本生協連環境政策推進委員会（現・環境サステイナビリティ委員会・委員）学識委員をされており、11月に日本生協連が開催した「2019環境トップセミナー」で講演されています。

会員生協にお願いする集約項目について

2019 年 12 月 12 日 埼玉県生協連

1. 報告の主旨

- (1) 会員生協の地域社会との関わりに関する定性情報と定量情報を埼玉県生協連として把握し、発信するために毎年行っている集約内容に次の項目を追加します。
- (2) 活動委員会での論議を受けて修正し、2019 年度の数値については、第 2 次集約として(4 月中旬予定 ※昨年は 4 月 23 日)で実施します。

2. 具体的な集約項目案

項目	内容
包括連携協定締結自治体数	()自治体
見守り協定締結自治体数	()自治体、()団体 通報した件数()件
防災協定締結自治体数	()自治体
自治体と連携した取り組み	具体的にご記入ください
地域の居場所について	生協として直接関わっているところ()か所 組合員が関わっているところ()か所 支援しているところ()か所 具体的な事例などあればご記入ください
助け合い活動 活動時間数	有 無 年間()時間 子育て()時間、高齢者()時間 その他()時間 特徴的な援助事例など 総合事業との関わりについて

介護事業の状況	提供しているサービス 利用している人数()人
市民団体への助成金などサポート制度	有 無 助成団体数() 助成金額()
フードドライブについて	年間のフードドライブ重量で()
フードドライブ常設場所数	()か所

事業・地域資源に関すること

県内の事業所数	
活動の拠点となる施設数と年間の利用者数	()か所 年間利用者数(約)人
県内を走っている車両台数	配送車両、営業車両を含めて おおむね1日()台稼働

組合員組織に関すること

主な組合員組織が記入されている組合員組織図をご提供ください。既存のもので結構です。	
食育、子育てなどのサポート	食育、子育て、学びなどで組合員をサポートするサポーター制度などがありますか 有 無 具体的にはどのような制度ですか
年間を通じた組合員活動への参加者数	年間を通じて(約)人です。

店舗がある生協に伺います

店舗数	()店舗
来店者数	年間()人

埼玉県生協連「情報」の配信方法の変更と項目の追加について

12月12日 埼玉県生協連

清水 桂

1. 提案の趣旨（目的）

- (1) 埼玉県生協連の機関会議報告や各種取り組み告知・報告を主に掲載する「情報」を、2019年度をもって紙媒体での発信を終了し、埼玉県生協連「Information」として、毎月5日前後にデータ配信することとします。
- (2) データ配信については、対象と流れを明確にします。（別途提案）
- (3) 現在「情報」に掲載している機関会議や各種取り組み報告、告知などについては、会員生協への月度のまとめとともに配信します。他県連その他については、ホームページに報告・告知とも随時掲載を継続します。

2. 提案の補足

- (1) 紙媒体の埼玉県生協連「情報」は、毎月550部印刷し、主な配布先は会員生協および他県連です。
- (2) これまでの「情報」1月号（新年号）での県連へのメッセージ特集については、通常総会に向けたメッセージ特集に2021年度から切り替えていくこととします。

（参考）

- ・ 紙媒体で制作経費は、年間115万円でした。通常総会メッセージ集のみ発行すると約20万円となります。発送経費は年間約12万円でした。

（添付資料）

- ・ 「情報」発送先一覧

埼玉県生協連ホームページリニューアルについて（案）

2019年12月12日 事務局

1. 報告の趣旨

埼玉県生協連のホームページについては、2015年以降、改修をおこなっておらず、体裁やカテゴリなど、実態に合わせることも必要になっています。

さらに、紙媒体の今後を考え、会員ページの新設により、ホームページの機能含めて整理することで、必要な人に必要な情報をタイムリーに届けられることができるように進めています。

2. 報告内容について

（1）トップページ改修（イメージ）



- ・埼玉県生協連について、
- ・活動のご紹介、
- ・埼玉の生協とサービス、
- ・会員生協について

（2）カテゴリ分けの変更（ ）内は現行

県連活動（県連活動記事）、福祉助け合い（福祉関連記事）、平和（平和関連記事）、消費者力（なし）、環境・エネルギー（環境関連記事）、食の安全・安心（食の安全関係記事）、防災・減災（防災関連記事）、災害復興支援（なし）、協同組合連携（なし）、地域社会づくり（なし）

（3）会員ページの新設

会員生協メンバー限定の会員ページを設置します。会員IDとパスワードでログインし、閲覧します。掲載するのは、各種報告データ（年度のまとめ、機関会議含む県連主催学習会等の報告等）、各種フォーマットなどを予定しています。

埼玉県生協連 11 月度まとめと今後の課題

2019 年 12 月 6 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 埼玉県生協連の生協指導検査結果について

11/29(金)、埼玉県による埼玉県生協連に対する生協指導検査が行われ、5つの指摘・意見がありました。今後、埼玉県からの結果通知を待って、改善整備報告書を作成し、第5回理事会(3月12日)、第5回監事会(3月4日)で報告・検討の上で埼玉県に提出する予定です。

(2) 2019 年度第 3 回理事会

11/21(木)、2019 年度第 3 回理事会を開催しました。今回の理事会では冒頭に、2019 年度上期の経営状況、消費税関係、台風 19 号災害関係について交流を行った他、埼玉県生協連 2019 年度上期まとめと下期課題などについて協議を行いました。

(3) 2019 年度第 1 回大学部会

11/13(水)、2019 年度第 1 回大学部会を開催しました。埼玉県生協連からの報告、各大学生協からの上期経営状況と学生委員による活動報告を行った後、会員生協間の連携活動について意見交換を行いました。

(4) 2019 年度役職員研修会

11/21(木)、浦和コミュニティセンターにて開催し 7 生協 29 人が参加しました。「生協が『生涯を通じたお役立ち』をはたすために」と題して、日本生協連福祉事業推進本部部長の山際淳さんより生協福祉事業の中長期戦略中間報告についてお話しいただきました。参加者からは、県内生協の連携を具体的に考える必要性を認識したなど、感想がありました。※別紙 1

(5) 2019 彩の国食と農林業ドリームフェスタ

11/16(土)~17(日)に開催された 2019 彩の国 食と農林業ドリームフェスタに、協同組合間連携の一環として、4 会員生協と埼玉県生協連が出展しました。今年度は 4 会員生協と埼玉県生協連、フードバンク埼玉の 6 つのテントを一体化する企画としてクイズスタンプラリーを実施し、520 人が参加しました。全体の参加者は 2 日間で 51,000 人でした。※別紙 2

(6) 埼玉県と第 55 回埼玉県消費者大会実行委員会の懇談

11/28(木)、埼玉教育会館で埼玉県 22 人、実行委員団体 14 団体 20 人が出席し、開催しました。消費者大会で確認された埼玉県への要請書に基づき、特に重点とした 17 項目について県からの回答と実行委員会団体から発言を行いました。時間配分等に問題があり、次年度以降の進め方について検討します。

2. 分野の取り組み状況

(1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 埼玉県生協連と医療生協さいたま共催のヘルスチャレンジ 2019 の取り組みが会員生協で行われています。11 月末現在、報告が約 700 人から寄せられています。
- ② 10 月 25 日(金)~11 月 26 日(火)に県内 6 会場にて消費者被害防止サポーターフォローアップ研修を開催し、合計 135 人が参加しました。研修では最新の消費者被害の手口や消費生活センターの役割・機能を学びました。また、午後からはサポーター交流会を開催し、合計 116 人が参加。手作りの「啓発かるた」の活用やサポーターの活動内容を交流しました。※別紙 3

- ③ 適格消費者団体の取り組み（差止および被害回復）では、現在1件の訴訟が継続中です。書面による差止請求0件（累計2件）、申入れ0件（6件）、お問合せ対応は3件（15件）、検討中8件でした。被害回復の取り組みは、申入れ0件（1件）、お問合せ0件（1件）、検討中6件でした。

差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第10回期日が、2020年2月5日（水）13時15分さいたま地裁で行われます。判決言い渡しになります。
------------	-----------	---

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41条書面)→訴訟

(2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 11/6(水)、第13回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会が開催され、各団体の署名の取り組みの交流や「ヒバクシャと出会うカフェ」の具体化について話し合いを行いました。

(3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報11月号を発行、12月号・1月号、写真ニュース冬号の原稿依頼を行いました。
② ホームページの改修作業を行い、トップページおよび会員ページの掲載項目を整理しました。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 11/13(水)、埼玉県地球温暖化の検討に関する専門委員会が行われ、大久保常務理事が参加しました。
② 11/22(金)、埼玉県環境審議会が行われ、吉川会長理事が参加しました。審議会では次期埼玉県環境基本計画作成に向けた論議が行われています。

(2) 埼玉消団連

- ① 第55回埼玉県消費者大会第7回実行委員会を開催し、消費者大会の振り返りと、第56回消費者大会のすすめ方について話し合い、例年より1か月早く2月に実行委員会への参加をよびかけ、3月から第1回実行委員会をスタートすることを決めました。また、正副実行委員長の体制について確認しました。
② 県内消費者団体地区別研修会の日程および会場を確定、プラスチック問題について学ぶこととし、消費者大会分科会で講演いただいた（一社）JEANによる講演とワークショップを行います。今後、消費者団体に案内していきます。※別紙4

(3) 諸団体

- ① 11/1(金)、JA埼玉県中央会が主催するTACパワーアップ埼玉県大会が行われ、大久保常務理事が参加しました。また、審査委員として吉川会長理事が事前審査に参加しました。
② 埼玉県協同組合間提携推進協議会の代表者会開催に向けて、JA埼玉県中央会と事務局による打合せを実施しました。
③ 10月度に引き続き、彩の国会議が被災地での情報交換会を開催した他、定例会を開催しました。今後は訓練を目的とした定例会が行われる予定です。

4. 今後の課題

- ・ 会員生協から多くの方に参加いただけるように、各生協の次年度日程を参考にしながら、埼玉県生協連の取り組み日程を作成します。
- ・ 1/17(金)に浦和コミュニティセンター第15集会室で行う助け合い活動交流会の準備を進めます。当日は、それぞれの助け合い活動の仕組みを知ること、活動の交流を中心に行います。

- 第2回組合員学習会の日程・会場・テーマが決まりました。2/28(金)の10時～11時50分、浦和コミュニティセンター第15集会室で「SDGsの国内展開とプラスチック問題(仮)」と題して、国立環境研究所の田崎智宏さんを講師に行います。
- 埼玉県食品安全課との懇談は1/30(木)に開催予定、関東農政局との懇談は3月中旬に30人規模で調整中です。確定次第、消費者団体および会員生協に参加を呼びかけます。
- 情報12月号・新年号および写真ニュース冬号の制作の準備を進めます。
- 県連ホームページの改修版を本アップし、会員ページ運用をスタートします。
- 県議会会派懇談において、生協の認知度アップを図るとともに地域を豊かにするための意見交換を行います。今回懇談を行うのは、埼玉県議会自由民主党議員団、無所属県民会議、埼玉民主フォーラム、埼玉県議会公明党議員団、日本共産党埼玉県議会議員団、無所属改革の会の6会派です。
- 2020年新春賀詞交換会の開催に向けて、準備を進めます。
- 埼玉消費者被害をなくす会では、消費者被害の情報収集のために1/28に消費者トラブル110番を実施するための準備を進めています。今後、会員生協への広報の依頼などを行う予定です。※別紙5

埼玉県受託事業報告(11月度)

2019年11月29日
埼玉消費者被害をなくす会

1.消費者被害防止サポーター活動推進事業(サポーター登録累計811人)

(1)消費者被害防止サポーター養成講座

2019年度サポーター養成講座の開催計画は、12月5日蓮田市、1月22日横瀬町、1月24日小川町、1月27日医療生協さいたま西協同病院、2月24日鳩山町での開催が確定しました。

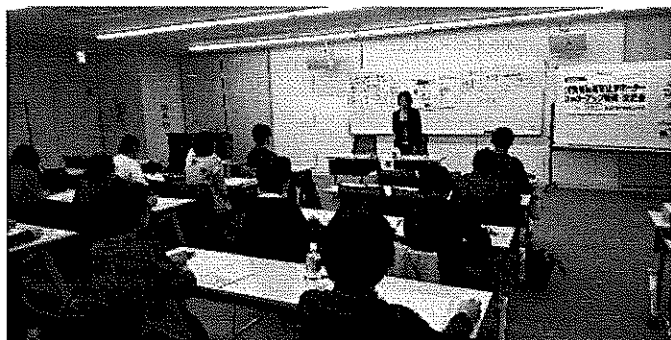
引き続き、開催申し込みのあった小鹿野町、行田市の開催日程の確定と、受講者募集の広報調整を進めます。また、宮代町からの要請を受け、11月19日に高齢者対象のみやしろ大学にて「地域の消費者被害を防ぐには」をテーマに、なくす会からの講義と宮代町のサポーター4人による消費者被害の手口に関する寸劇を実施し、173人が受講しました。

(2)福祉見守り担当者講座

福祉見守り担当者講座は、11月16日(土)鶴ヶ島市役所にて開催し、自治会関係者、民生委員、ケアマネージャー、消防署員、介護事業所職員、生協職員、地域包括支援センター、健康福祉部高齢者福祉課など62人が受講しました。

(3)フォローアップ研修・交流会、全体研修会・全体交流会

第2回サポーターフォローアップ研修は「最新の消費者被害の手口を知り、消費生活センターへつなぐ」をテーマに開催し、また、交流会はサポーターが作成した28首の「啓発カルタ」の活用と、サポーター同士の啓発活動の交流を目的に開催し、11月8日越谷会場23人、11月12日春日部会場18人、11月20日川越会場18人、11月26日 With You さいたま会場に30人が参加しました。



2.高齢者等見守り促進事業(訪問計画県内63市町村／11月29日までに23市・14町・1村を訪問)

11月6日久喜市、19日上里町、本庄市、宮代町、27日幸手市、杉戸町、28日東秩父村、ときがわ町を訪問し、消費者被害サポーターの養成や連携、消費者安全確保協議会についての状況把握と提案を行いました。

3.インターネット適正広告推進事業

(1)啓発事業および監視事業

インターネット適正広告推進事業は、インターネット広告監視9月分の県への届出を踏まえ、県から指示のあった19事業者に対し11月18日に啓発メールを配信しました。

また、11月分の広告監視は、「健康補助食品」「温泉施設」「美容商品」「衛生用品」「おせち」をテーマとして1,003件を検索・点検しました。この中から、不当表示と思われる48件の表示内容について担当弁護士の精査を経て、12月5日に埼玉県へ報告する予定です。

4.今後の課題

- ①1月～2月のサポーター養成講座開催準備
- ②第2回全体研修、交流会の案内と当日運営の準備
- ③12月・1月度市町村訪問計画の確定と訪問推進
- ④サポーターニュース第14号の発行

埼玉県と第 55 回埼玉県消費者大会実行委員会との懇談会 報告

2019 年 11 月 28 日 埼玉県消費者大会事務局

第 55 回埼玉県消費者大会で確認された「埼玉県への要請書」に関して、埼玉県と以下のように懇談しました。懇談では要請書から抜粋した各項目について県の担当部局より口頭で回答があり、それを受けて、要請項目の理解を深める発言や、質疑応答をおこないました。



【日時】 11 月 28 日（木）13:30～15:30
【場所】 埼玉教育会館 104 会議室
【参加者】 埼玉県：22 人、実行委員団体：20 人（14 団体、事務局）

1. あいさつ

関口修宏さん（埼玉県県民生活部消費生活課課長）

引き続き増加している高齢者の消費者被害に対して、行政と消費者団体連携をさらに進め、被害を防いでいくことが必要だと思っています。本日は、いただいた

要請書について、率直に意見交換をしていきたいと思います。

廣田美子さん（第 55 回埼玉県消費者大会実行委員長）

懇談について、要望を受け入れていただき、11 月の開催となったことについて、感謝申し上げます。本日の懇談のテーマは多岐にわたりますが、SDGs 目標を実現していくプロセスのひとつともいえるものでもありますので、有意義なものとなるようすすめていきたいと思います。

2. 要請書について概要説明（吉川尚彦 大会事務局長）

要請書に基づき、前半「はじめに」「消費者行政の充実強化について」「食に関する対策強化について」、後半「社会保障・福祉・教育制度の充実について」「環境やくらしの安心について」「平和な社会の実現について」のうち、特に重点項目とした点について説明しました。

3. 埼玉県の回答

要請項目のうち、重点項目とした 17 項目について、担当課からの口頭回答がありました。

なお、すべての要請書項目に関する回答は、後日文章で送られてくる予定です。

4. 質疑応答

埼玉県からの回答を受けて、要請項目についての理解を更に深めるために、消費者大会実行委員会の参加者から発言をおこないました。発言した項目と内容の抜粋は次のとおりです。

消費者：地方消費者行政への財政支援の国への要請について、市町村に対する独自予算確保の働きかけについて

食：食の安全確保に関する県と 4 市の連携強化について、食育のしくみの整備について、ゲノム編集に関するリスクコミュニケーション開催について、学校給食のパンの県産小麦活用について、「家族農業の 10 年」の県として施策推進と理解促進について

社会保障：高齢者を地域で支えるサービスを行う団体への支援について、こどもの医療費助成・教育費補助の拡充について、高齢者への医療費助成について、障害児の放課後施設・特別支援学校の施設整備について

環境・くらしの安心：海洋プラスチック汚染について、フードバンク団体への財政支援等について、防災・減災への実効性のある対策について



以上

学び・考え・発信する親子向け企画「親子で学ぶ げんばくってな～に？」(仮題)について

2019/10/31 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

1. はじめに

継承する会では若いボランティアを中心に「継承」のための企画に取り組んでいます。その一つとして小学生と保護者を対象として2019年3月の春休み、8月の夏休にあわせて「親子向け企画 げんばくってな～に？」を開催しました。この取り組みは継承する会の活動をボランティアでお手伝いいただいているコープみらいの若手(20代、30代)の組合員さんが中心になり企画・運営しました。この取り組みを多くの方に知っていただき、参加の輪をさらに広げていくために、埼玉戦争展のイベントルームでの企画の一つとして開催したいと考えています。

* 埼玉戦争展:2019/7/27～29 浦和コルソ 7 階催事場で開催 3 日間の来場者は 8,500 人

2. 企画のポイント

○参加型、発信型のイベントです

きのこ雲の下で何が起きたか親子で学び、考え、話し合い、それを「未来につなぐ被爆の記憶」専用サイトで発信します。

○準備過程が継承の場になるように

被爆者と若い世代が参加者に何を・どのように伝えるかを一緒につくっていくことで、被爆者のみなさんから託されたバトンをつないでいく受け継ぎ手(語り継ぎ部)が繋いでいく、継承の場になるように運営します。

○戦争展から、それ以外のところで:

戦争展でのイベントに留めず、生協をはじめ地域での取り組みにつなげていきます。

3. 企画概要～「親子企画」の基本的な枠組み(案)～

1時間のパッケージ企画として、オープニング・クロージングを10分、中身は50分で設計する

1)クイズ形式で原爆を学ぶ(10分)

2)被爆者のお話し(20分) * 講話インタビュー形式、ビデオレターなど様々な方法が考えられる。

3)感想を親子で話し合う(15分) * 親子に限らず隣の席の人と話し合うなど様々な方法が考えられる。

4)感想を「未来につなぐ被爆の記憶」専用サイトに投稿する(5分)

4. 進め方

戦争展でのイベント開催に向け継承する会で募集するボランティアを軸にしたプロジェクトとして進める。埼玉県原爆被害者協議会に証言者の紹介、埼玉県生協連にHPでの企画・ボランティア募集案内の掲載などにも協力をお願いする。戦争展までのスケジュール、活動頻度は以下の通り。

期間: 2019/2～2020/7 まで

内容: クイズコーナー、「被爆者のお話し」部分の内容のづくり、など

頻度: 概ね月1回、土曜日または日曜日の午前、または午後 1 時間半～2 時間程度の打合せ。会場は未定。第1回打ち合わせは○月○日○時～××で開催する。

条件: 交通費実費支給(継承する会負担)

以上

2019年度 埼玉県生協連 活動日誌

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
10/17	第2回活動委員会 埼玉県労働者福祉協議会第5回理事会 埼玉エコ・リサイクル連絡会運営委員会
/18	全国消費者大会第2回実行委員会・学習会 全国消費者団体連絡会理事会・運営委員会
/20	コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ
/21	埼玉消費者被害をなくす会 10月検討委員会
/23	福祉見守り担当者講座（上尾・宮代）
/24	埼玉県消費者団体連絡会幹事会 埼玉県労働者福祉協議会県要請懇談会
/25	関東甲信越行政生協関係者連絡会 コープデリ連合会防犯・防火・防災部会 第2回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会（東松山） スマイル基金総会・報告会
/29	福祉見守り担当者講座（戸田）
/30	埼玉消費者被害をなくす会 DeNA 訴訟
/31	第2回災害対策委員会 埼玉県と適格消費者団体との連絡協議会 第2回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会（熊谷）
11/1	TACパワーアップ埼玉県大会 埼玉医療生活協同組合との懇談
/5	地方消費者行政の充実・強化を考える2019シンポジウム
/6	ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会、こども食堂フォーラム
/7	フードバンク埼玉第2回理事会・運営委員会
/8	第2回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会（越谷）
/11	埼玉消費者被害をなくす会第5回活動委員会 ゲノム編集育種を考えるネットワーク学習会
/12	第2回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会（春日部）
/13	第1回大学部会 埼玉県地球温暖化の検討に関する専門委員会 日本生協連環境トップセミナー
/14	第2回常務理事会
/15	第3回監事会
/16	彩の国食と農林業ドリームフェスタ（～17日） 福祉見守り担当者講座（鶴ヶ島）
/19	中央労働金庫との懇談 みやしろ大学福祉ミニ講座
/20	埼玉県消費者団体連絡会幹事会 第2回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会（川越）

／21	第3回理事会、埼玉県役職員研修会 千葉県生活協同組合連合会創立70周年記念講演・記念祝賀会
／22	埼玉県環境審議会 包括的連携協定締結企業等と埼玉県とのテーマ別情報交換会 埼玉消費者被害をなくす会第2回理事会 埼玉消費者被害をなくす会11月検討委員会 コープデリ連合会防犯・防火・防災会議(オブザーバー参加)
／26	中央地連第3回運営委員会 第3回県連活動推進会議 第2回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会(さいたま) フードバンク埼玉事務局会
／27	埼玉県ユニセフ協会理事会・評議員会 彩の国環境大賞審査会 埼玉県労働者福祉協議会第6回理事会
／28	第55回埼玉県消費者大会第7回実行委員会 埼玉県と第55回埼玉県消費者大会実行委員会との懇談
／29	埼玉県による消費生活協同組合指導検査 中央地連地域社会づくり交流会 生協総合研究所創立30周年記念講演・レセプション 審査委員及び特定適格消費者団体との意見交流会
12／2	中央地連MCA無線訓練 埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会
／3	平和のための埼玉の戦争展常任委員会
／4	埼玉母親大会連絡会常任委員会
／5	消費者被害防止サポーター養成講座(蓮田)
／9	第6回地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議
／10	日本化学工業協会消費者対話集会
／11	埼玉県議会自由民主党議員団との懇談 平和・市民5団体懇談会 さよなら原発埼玉県民集会第5回実行委員会 第2回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会(飯能)
／12	組合員活動交流会 第3回活動委員会
／13	中央地連大規模災害対策協議会都県連交流会 埼玉消費者被害をなくす会第6回活動委員会 国民生活センター消費生活サポーター研修 全国消費者大会第3回実行委員会 全国消費者団体連絡会理事会・運営委員会
／17	埼玉県協同組合間提携推進協議会代表者会議
／18	埼玉県議会公明党議員団との懇談
／19	日本共産党埼玉県議会議員団との懇談 埼玉県消費者団体連絡会幹事会 埼玉消費者被害をなくす会12月検討委員会
／20	コープデリ連合会防災・防犯・防火会議
／22	ユニセフハンド・イン・ハンド
／26	第3回常務理事会

1/7	第4回監事会 神奈川県生協連新年賀詞交換会 埼玉新聞社 2020 新年賀詞交換会
/8	連合埼玉 2020 新春のつどい
/9	司法書士新年賀詞交歓会 埼玉消費者被害をなくす会第7回活動委員会
/10	埼玉県消費者団体連絡会幹事会
/11	2020 年埼労連新春旗開き
/14	日本生協連全国方針検討集会（～15日） 日本生協連 2020 年賀詞交歓会
/16	第4回理事会 埼玉県生協連 2020 年新春賀詞交換会
/17	助け合い活動交流会
/20	県内消費者団体地区別研修会（熊谷）
/21	第10回九都県市合同防災訓練・図上訓練
/22	消費者被害防止サポーター養成講座（横瀬）
/23	栃木県生活協同組合連合会創立 50 周年記念祝賀会
/24	コープデリ連合会防災・防犯・防火会議 埼玉消費者被害をなくす会第3回理事会 埼玉消費者被害をなくす会 1 月検討委員会 埼玉県労働者福祉協議会第7回理事会 消費者被害防止サポーター養成講座（小川）
/26	しらさぎ会新春のつどい
/27	消費者被害防止サポーター養成講座（医療生協さいたま）
/28	中央地連第4回運営委員会 第4回県連活動推進会議 県内消費者団体地区別研修会（春日部） 消費者被害情報収集 110 番
/29	埼玉県消費生活審議会
/30	埼玉県食品安全局と消費者団体との懇談会 埼玉消費者被害をなくす会講座等支援チーム会
2/3	中央地連 MCA 無線訓練 埼玉県と埼玉消費者被害をなくす会との協議会
/5	ヒバクシャ署名埼玉連絡会
/6	埼玉消費者被害をなくす会第8回活動委員会
/7	県内消費者団体地区別研修会（上尾） 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会
/10	県内消費者団体地区別研修会（川越） 消費者被害防止サポーター養成講座（小川）
/12	JA 埼玉県女性組織協議会と埼玉県生活協同組合連合会との第 25 回早春交流会
/13	第2回大規模災害対策全体会議
/14	第4回活動委員会 消費者被害防止サポーター養成講座（鳩山）

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

12 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（10 月 17 日～12 月 10 日）

生協名	生活協同組合コープみらい
報告者	本多 達

月日		参加人数・活動内容・特徴など
10 月 20 日	<p>コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ</p> 	<p>10 月 20 日（日）4 団体同時開催イベントとして、コープみらいの食育「たべる、たいせつ」を中心テーマに、「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」を開催し、約 4.5 万人の方々にご来場いただきました。主催者を代表して土屋理事長があいさつした後、今年就任された大野元裕埼玉県知事にもごあいさつをいただきました。</p> <p>「台風 19 号被害 緊急支援募金」を実施し、12,179 円の募金が寄せられました。</p>
10 月 30 日	<p>テーマ学習会② 「くらし豊かに（商品政策）」</p> 	<p>10 月 30 日（水）コーププラザ浦和にて 2019 年度第 2 回テーマ学習会「くらし豊かに（商品政策）」を開催し、ブロック委員、活動サポーターなど 125 人が参加しました。CSR 推進部の岩佐部長を講師に、「商品政策の基本的な考え方」の資料をもとにわかりやすく講演をしていただき、今後活動のさまざまな場面で役に立つ学習会となりました。</p>
11 月 9 日	<p>（農）埼玉産直センター収穫祭</p> 	<p>11 月 9 日（土）埼玉産直センター主催「第 15 回収穫祭」にコープみらいから子ども 172 人を含む 126 組 449 人、コープぐんまや東都生協などを含めて総勢約 1,500 人が参加しました。コープみらいブースでは、1 日に必要な野菜摂取量(350g)の重量当てと、野菜摂取の充足度を測定する「ベジチェック」を組合員理事やブロック委員が実施しました。</p>
11 月 12 日 ～15 日 ・17 日	<p>11 月ブロック別総代会議</p> 	<p>11 月ブロック別総代会議を 11 月 12 日から 15 日、17 日の 5 日間で開催しました。2019 年度上期の取組みと下期課題、全体概況および各事業や参加とネットワークの取組みを報告し、ご理解をいただきました。</p> <p>※出席状況、総代 405 人中 336 人出席（出席率 83.0%） アンケート理解度 100%（理解できた 59.5%、概ね理解できた 40.5%）、欠席 69 人、他ブロック参加者 12 人、託児 25 人</p>
11 月 17 日	<p>コープみらいプラザまつり in 浦和</p> 	<p>11 月 17 日（日）コーププラザ浦和にてプラザまつり in 浦和を開催し、450 人が来場されました。海のエシカルの取り組みに合わせ、ステージ発表、模擬店、試食等で ASC 認証や MSC 認証の商品を紹介し、取り組みを伝えました。ブロックニュースや、ポスターで呼びかけたフードドライブの取り組みも 22 点、約 5kg が集まりました。</p>

(2) 社会貢献やCSR活動等

- ・台風15号被害緊急支援募金金額は173,024,183円です。
- ・台風19号被害緊急支援募金金額は2億円を超える金額になっております。
- ・2019年11月度時点コープみらい全体での東日本大震災復興支援募金金額は8,116,874円です。
- ・2019年11月度時点コープみらい全体でのユニセフ一般金額は2,597,088円です。
- ・2019年11月度時点コープみらい全体での平和の旅募金金額は952,048円です。
- ・「コープみらい地域かがやき賞」募集終了しています。
- ・「コープみらいくらしと地域づくり助成」募集終了しています。

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
12月1日	コープみらいプラザまつり in 川越	西北ブロック
12月7日	コープみらいプラザまつり in 大宮	中部ブロック
12月10日	コープみらいカレッジ 深谷キャンパス	北部ブロック
12月14日	コープみらい秩父の森	
12月5日～ 12月24日	ユニセフハンド・イン・ハンド募金	20会場
1月17日	分野の学び候補日	
1月23日～	ブロック委員募集説明会	埼玉エリア
1月20日	コープみらいカレッジ 所沢キャンパス	西南ブロック
1月23日	コープみらいカレッジ 越谷キャンパス	東南ブロック
1月26日	コープみらい秩父の森	

(5) 組合員拡大 11月20日現在

11月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
17,537	7,944	9,593	154,327	82,331	71,996	3,542,557

(6) 組合員組織状況 11月20日現在

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数(地域クラブ)	436 (4,616人)
支部・運営委員会数	8ブロック (埼玉エリア)	支部・運営員数	111人 (ブロック委員)

2. 事業報告 11月20日現在

11月度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
34,188,016千円	102.8%	259,859,686千円	100.0%

2019彩の国食と農林業ドリームフェスタ参加報告

2019年11月18日
コープみらい 埼玉県本部
参加とネットワーク推進部

1. 報告

“暮らしのとなりが産地です”をテーマに、「2019彩の国食と農林業ドリームフェスタ」が開催されました。彩の国食と農林業の祭典実行委員会が主催し、後援団体の埼玉県生協連より出展要請を受け、コープデリ宅配草加センター・東南ブロック委員会で参加しました。

2. 報告の補足

(1)開催概要

開催期日：2019年11月16日（土）～17日（日） 10:00～15:00

会 場：草加市 まつばら綾瀬川公園

主 催：彩の国食と農林業の祭典実行委員会

テ ー マ：統一テーマ「暮らしのとなりが産地です。」

サブテーマ「近いが うまい 埼玉産」

重点課題「安全・安心・信頼の埼玉農林水産業」



(2)参加内容

① 東南ブロック委員会による「野菜ゲーム」

（釣った野菜の花を当てる食育ゲーム、参加賞としてCOOPの野菜のお菓子をプレゼント）

② コープデリ宅配事業部による事業PR

③ 埼玉県生協連の呼びかけによるスタンプラリー実施

両日とも天候に恵まれ来場者も多く、終日賑わっていました。野菜ゲームは221人もの子どもが参加し大好評でした。コープデリ草加センターでは、飲料の試飲をおこないながら事業の案内を兼ねたアンケートを実施しました。

県内の市町村、農林水産業団体を始めとする関係団体と一緒に協同組合間提携のコーナーに、埼玉県生協連、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたまとフードバンク埼玉のテントを並べ、コープみらいの認知向上を目指し東南ブロック委員会協力のもと参加しました。

また、食育クイズを問題としたスタンプラリーをおこない、SDGsの認知度向上のために回答記号がSDGsの文字となるように実施しました。



活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連様）

10・11 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（10月1日～11月30日）

生協名	パルシステム埼玉
報告者	石川 誠

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
10/4 (金)	ひとりで迎える最期への準備	上野千鶴子氏を招いて「ひとりでむかえる最期への準備」を開催し143名の参加がありました。募集人数90名としていましたが150名を超える応募があり、急きょ会場を変更し全員当選としました。会場を変更して応募者全員を受け入れたことを上野さんのトークの中で触れていただいたので、参加者から感謝の言葉もいただいています。
10/5 (土)	南埼玉産直ネットワーク 田んぼ交流「稲刈り収穫祭」 	組合員71名の参加で稲刈り体験を開催。鎌の使い方などを生産者から説明いただき、さっそく田んぼに入りました。刈った稲を束にして、一括りにまとめて干しました。参加者が刈った後の残りの稲はコンバインで一気に収穫しました。粳摺り体験では、その場で収穫した稲から粳米を取り、すり鉢と野球ボールで優しく擦って玄米にしました。参加者はそれを持ち帰り、家で炊く米に混ぜていただくことになりました。作業体験の終了後は、南埼玉産直ネットワークのお米で作ったおにぎりと、パルシステムの食材を使用した豚汁を生産者と一緒にいただきました。
10/22 (火)	商品展示会 in さいたま 	さいたまスーパーアリーナ 1階 展示ホールで開催しました。今年度の開催テーマは「生産者・メーカーと会おう、話そう、伝えよう!」。当日はあいにくの空模様でしたが、午前の部473名、午後の部582名の組合員とその家族や知人の方々の来場がありました。生産者やメーカーにとって、商品の試飲・試食を行うことで商品を知ってもらう絶好の機会となります。また、直接交流を図ることにより、商品への理解が深まり信頼も高まると考えています。カタログで見ても買うには少し迷っていた商品を試すことができ、またお気に入りの商品についてメーカーの方と直接会話をすることで、さらにパルシステムを身近に感じてもらう商品展示会となりました。
10/29 (火)	フレイル予防学習会 	医療生協さいたまと共催で、今年度4回目となるフレイル予防学習会を開催し医療生協のサポーターの方5名を含め27名が参加しました。今回の座学テーマは「薬」で浦和民主診療所の薬剤師の方が講師となり、処方薬と市販薬の違いや、サプリメントの上手な使い方について詳しく教えていただき、たくさんの質問が挙がりました。最後に、医療生協のサポーターがお手本となり脳トレを実施しました。
10/30 (水)	いきいきネットワーク 車いす講習会 	いきいきネットワーク応援者を対象とした車いす講習会を開催し8名が参加。いきいきネットワークでは、介護職員初任者研修（または旧ホームヘルパー2級）を取得し、かつ車いす講習を受講している応援者の方に限り、車いす活動を担えることとしています。今回の学習会は資格を持っていない応援者にも広くよびかけ、車いすの基本的な操作などを体験してもらう講習としています。講師は医療生協さいたまに協力いただき、医療生協ケアステーションうらしん（訪問看護ステーション）の理学療法士の先生にお越しいただきました。座学や基本操作の練習の後は、ばる★てらす周辺の屋外で段差や坂道の走行練習を行いました。
11/8 (金)	青年農業者交流会 	生産者、組合員、役職員合わせて48名が参加。青年農業者交流会は、産直のこれからを支える若手生産者を全国の産地より迎え、消費者である組合員と産地の様子や農産物について語り合い交流を深める場です。交流会はワークショップ形式で進め、グループに分かれて組合員が生産者を囲み、家族のこと、生産物について、今後の課題と意気込みをインタビュー。話し合った内容を模造紙にまとめ発表。

11/11 (月)	いきいきネットワークコミュニケーション学習会「子育て中の親・子に寄り添う支援とは？」	「えじそんくらぶ」代表の高山氏を講師に迎え 40 名（応募者 25 名、その他応募者 15 名）の参加で開催。アンケート集約では、『不完全な自分を好きになる』発達障害の方でなくても心に響く言葉と感じました」や、「いくらでも上書きできる。子供にやっちゃってしまっていたダメなことが沢山あったので、これから上書きしていきたいと思います。」などの感想があがりました。
11/15 (金)	思春期のいじめについて考えてみませんか？	評論家で NPO 法人ストップいじめナビ代表理事の荻上チキ氏を迎え開催。ストップいじめナビを始めた経緯から、データをもとにいじめの傾向と構造、大人に求められる事をお話いただきました。当日は 20～80 代の 83 名の参加があり、「生徒手帳にいじめ対策を周知し、4 月に生徒に説明していくことは大変効果があると思います」「家族、社会、学校でのストレス対策をやっていくことが大切。自分で対処法を学べる教育が必要だと思う」などの感想が聞かれ、好評でした。
11/20 (水)	あんどおりす防災講座	あんどおりす氏を講師に迎え、子育て中の親子のための防災講座を開催し 37 名（大人 30 名、子供 7 名）が参加。子育て中のお母さんの関心がとても高く、今回、託児申込が定員を超えたため、親子同室で行いました。あんどおりさんは、阪神大震災被災体験とアウトドアの知識を生かした防災ガイドとして全国で講演活動を展開されており、いざという時に子育てグッズや身の回りのもので代用し、防災が「やらなければ」から「やってみたい」に変わるととても人気が高い講師です。

(2) 社会貢献やCSR活動等

1. ぽる★てらす「親子ふれあいサロン」毎週金曜日に開催

(2018 年度：開催 50 回 延べ参加 1,231 名 2017 年度：開催 51 回 延べ参加 654 名)

4 月～11 月 29 日 開催 35 回 延べ参加 742 名

2. いきいきネットワーク

(2018 年度：活動時間 5,287.5 時間 2017 年度：活動時間 5,088 時間)

4 月～10 月活動時間 2,949 時間 前年比 92.8%

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
1/11	沃土会ねぎ祭り	産地交流
1/15	公開確認会報告会	報告会
1/28	産直連続講座「ホクチクファーム」	学習会

(5) 組合員拡大 10 月末日現在 ※ () 内 予算比

10 月度 (人)			4 月からの累計 (人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
3,038 (94.4%)	2,506 (112.2%)	532 (54.0%)	18,578 (99.2%)	13,402 (99.7%)	5,176 (97.9%)	207,242

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

テーマ委員会数	5	テーマグループ数	14
地区会数	25	エリア委員会数	4
サークル数	59 (46/13)	委員数	233

2. 事業報告

11 月度		4 月より累計	
受注高	前年比	事業高	前年比
2,245,123 千円	99.9%	17,953,905 千円	100.0%

以上

2019 年 12 月 12 日

パルシステム埼玉 組織運営部

台風災害関連の取り組み

1. 東松山センターにおける被災者支援

10/27（日）東松山市の被災者宅 3 件の支援に職員 8 名で参加。東松山市社会福祉協議会にてボランティアの受付（氏名、住所、電話番号の記入）後、現地へ向かい、主に土嚢、瓦礫や木屑などの運搬を配送車両にて行いました。事前の東松山社協との調整も行えているため、トラック使用を検討した配置となりました。

<当日のスケジュール>

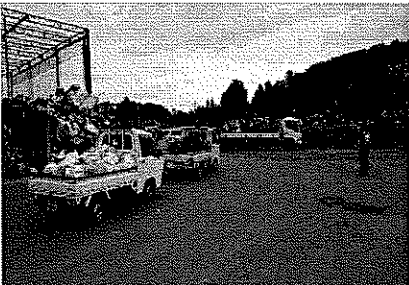
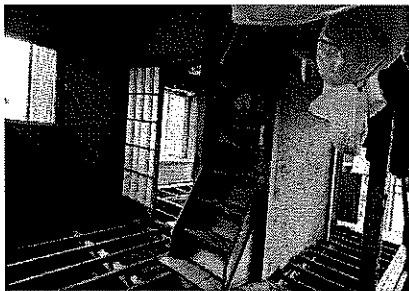
9:00 ～東松山センター集合

9:15 ～東松山社会福祉協議会ボランティア受付

10:00 ～現地到着、土嚢・瓦礫や木くず等の運搬

15:00 ～東松山センター到着、配送トラック 1 台、軽車両 2 台の洗車

15:30 ～解散



2. フードバンク東松山への寄贈

フードバンク全国協議会をつうじてパルシステム連合会に要請があり、フードバンク東松山に「レストラン仕様ビーフカレー（国産牛肉使用・中辛）200g×2」400P（800食分）を10/28（月）にお届けしました

3. 「NPO 法人東松山子育てねっと」からの要請 ※市民活動支援金の助成先団体

- ・台風 19 号の被害を受けた子育て家庭の支援活動も行うことになり、子どもが子どもらしくいられる空間を提供してあげたいとのことから、子どもの居場所の開設、物資の寄付の受け入れ・託児ボランティアなどの活動を開始しています。
- ・この間、託児ボランティア活動では、子どもたちが「とても我慢している」ということを特に感じ、子どものおやつを提供があまりなく、シリアルをポリポリしている子どもたちが多くみられるとのことでした。

- ・親子を対象とした支援物資がまだ足りていないとのことで、下記の物資提供について要望をいただいていますので、お菓子提供等、可能な範囲で対応したいと考えています。

＜要望＞

菓子類 : 乳～幼児・小学生のお菓子や乳製品、飲み物（おやつになるようなものが全くない）

衣 類 : 乳～幼児の秋冬下着、パジャマ、上着、靴下*80～100 cmのお子さん用

衛生品等 : トイレトペーパー、ティッシュ、生理用品（ナプキン）、ハンドソープ、除菌ウェットティッシュ、台所用除菌洗剤、ラップ、自由帳（ノート）連絡帳（ノート）

- ・下記会場で開催

①毛塚公会堂 東松山市大字毛塚 779（高齢者施設 わかばの丘）臨時託児 15～20 人程度

開催日 : 11/2（土）、11/3（日）、11/4（月） 9 : 30～15 : 30

②高四集会所 東松山市高坂 1061（高坂神社敷地内）臨時託児 15～20 人程度

開催日 11/2（土）、11/3（日）、11/4（月） 9 : 30～15 : 30

「NPO 法人東松山子育てねっと」への物資提供

- ・親子を対象とした支援物資がまだ足りていないとのことで、11/1（金）納品で飲料及びお菓子の提供を行いました。11/15（金）納品で、こんせんくん学習帳 50 冊を提供しました。

＜託児ボランティア実施状況＞ NPO 法人東松山子育てねっとHPより

- ・台風 19 号の影響を受け被災されたご家族のお子様（0 歳児から小学生まで）の託児を行いました。きっかけは、被災後、お互いの子どもを預けあいをして、片付けや今後の生活に向けた日々を送っていたママ達からの SOS でした。その声が私達に届き、ご縁があり支援する運びとなりました。最初出会った時、ママ達は疲労困憊されている中、笑顔を見せて話をしていましたが、想像を絶する辛さを感じ、被災した生活の中、子ども達に少しでも楽しい時間をと私たちは活動しました。パパ、ママ達もお昼休みに、会場に戻り、ご飯を食べながら、現在の進捗状況など共有されており、親達のコミュニティの場にもなっていました。また、親たちが泥かきや片付けをしている間、一緒に過ごす時間が重なるにつれ、子ども達の子どもの笑顔を見ることが増えました。

4. 緊急カンパ

パルシステムグループ全体で取り組みました。

「台風 19 号被害緊急支援募金」総額 1 億 219 万 4,711 円

「台風 15 号被害緊急支援募金」総額 9,535 万 187 円

5. 千曲川氾濫による産直産地「サンファーム」

- ・台風 19 号により千曲川沿い穂保地区の堤防が決壊し、サンファーム生産者の 8 世帯が住む地域が大きな浸水被害を受けました。どの生産者も浸水により、家と家財、農業機械、生産物、車その他生産資材設備に大きな被害です。
- ・同産地において 10/23（水）よりスタートした支援活動は、生産者自宅や保管施設などの泥だしや、床下に入った泥をかき出すための床はがし、流入したごみの片付けなどを行いました。支援活動は、10/23（水）～11/15（金）までで延べ 412 人規模の応援人員派遣となりました。

以上

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連御中）

11～12月度報告

生協名	生活クラブ生協
報告者	活動広報課長 中村泰介

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（11～12月）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
11/2	秩父の森で親子で体験 木こりといっしょに薪割りワー クショップ	埼玉県飲料水源である秩父の森を守る活動で自然環境と文化を次世代に継承することを目指しています。(秩父市民参加型伐採プロジェクト協議会共催) 今回は、秩父で間伐体験。
11/2	生活クラブ生協北本生活館 であい館まつり	生活クラブが設置している「みんなの居場所わ〜くわっく北本」がある北本生活館で、「であい館まつり」を開催。医療生協とのコラボで、学習会と健康チェックを実施しました。運動に関する機能を医療生協とともに補うことができるようになりました。
11/16	さんとめどんぐり村のあきまつり	三富地域の人たちへの周知と交流、組合員、組合員員外の交流を目的に2016年度より秋祭りを開催してきました。今年度は、どんぐり村近くの雑木林で開催。出展団体37団体、来場者・参加者は約500名で賑わいました。
11/16	デポー市（パンフェア）	来春のオープンに向け、デポー建設予定地（浦和駅徒歩9分・調神社前）で、デポー市（展示販売会）を開催。当日はパンフェアで、チラシ撒きやダイレクトメール、電話かけなど行い、21名の加入がありました。
11/22	埼玉県「三富新田」の平地林を取得しました	自治体や埼玉県三富地域の農業者とともに進めてきた環境保全活動をさらに一歩進めるため、11月22日、埼玉県西部の三富地域の平地林7,152㎡を購入しました。江戸時代に開拓された「三富新田」の持つ多面的な価値を守り、発信していきます。
12/3	一般向けに食育講座「本当に食べてほしいおやつ」を開催	さいたま新都心のコミュニティスペースで食育講座を開催。生活クラブ埼玉の講師養成講座を修了した「食育サポーター」が親子を対象に実施しました。参加者は3組でしたが、生活クラブの資料請求もいただきました。
12/7	埼玉環境フェア&子どもエコフェスティバルに出展	埼玉県環境学習応援隊に登録している「森と水の実行委員会」が出展しました。自然素材でつくるリースづくりのワークショップは、整理券を出すほどの大人気でした。

(2) 社会貢献やCSR活動等

- ・ヒバクシャ国際署名
- ・ゲノム編集食品の規制と表示を求める署名活動 8461 筆集まりました
- ・台風 15 号、台風 19 号被災支援カンパ
- ・組合員向け弁護士相談窓口（電話）の設置

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

第 7 次中期計画（2020-2024）検討プロジェクト答申を 11 月理事会で受理

4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
12/14 12/21 12/27～29	デポー市（展示販売会） * 12/6 時点 加入 197 名 700 名でオープン日決定 1,000 名でオープン予定	来春のオープンに向け、デポー建設予定地（浦和駅徒歩 9 分・調神社前）で、組合員とともに、デポー市（展示販売会）を開催していきます。
12/14 12/15	セレクトフェア in 大宮ソニックシティ（大宮ブロック主催 展示即売会）	直接見て触れて確かめられる。スーツ、靴、ランドセル、真珠など、18 生産者に加え、沃土会（野菜）、小島米菓、大豆工房みや、などの生活クラブの生産者が販売も行います。
1/18	さんとめどんぐりヤマの落ち葉はき	埼玉西部三富にある生活クラブの余暇・生産活動の拠点「さんとめどんぐり村」。農家だけではやりきれない冬の落ち葉はきを今年も行います。

(5) 組合員拡大 11 月 30 日 現在

11 月度（人）			4 月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
222	223	-1	1776	1945	-169	32,163

(6) 組合員組織状況(11 月 30 日 現在)

班数	788	サークル数	連：374
専門委員会数（本部）	24	グループ数	
支部・運営委員会数	55 支部	支部・運営委員数	

2. 事業報告

10 月度		4 月より累計	
事業高（供給高）	前年比	事業高	前年比
786,876 千円	94.73%	5,198,380 千円	98.07%

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

12月度

生協名
報告者医療生協さいたま
村崎 郁子

1、組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（10月16日～12月11日）

月 日	会議・催事名称	参加人数・活動内容・特徴等
10月20日	健康フェスタ (コープフェスタinさい たまスーパーアリーナ)	 コープみらいフェスタinスーパーアリーナと同時開催で健康フェスタを開催し約5,000人の方に足を運んでいただきました。新しい取り組みの「けんぼうBINGO」で「憲法」を楽しく学んでいただきました。そのほか、皿回し・けん玉やかからだの仕組みのブースでの聴診器体験、生協歯科のオーラルフレイル予防のストロー吹き矢も大人気でした。
11月1日	ピースフォーラム 2019	 組合員・職員で101人が参加し、八法亭みややっここと飯田美弥子弁護士による憲法落語で楽しく学びました。原水禁大会参加者の報告、事業所や支部での平和活動の取り組みを交流しました。埼玉協同病院の産婦人科病棟からは赤ちゃんの足型タペストリーの取り組みを紹介しました。歌で平和活動を行なっている草加支部の皆さんが「折り鶴」「羽ばたけ 憲法9条」などを合唱しました。
11月2日	(世界糖尿病デー) 糖尿病イベント イオンモール前川	 11月14日世界糖尿病デーにちなみ11月2日イオンモール川口前川で埼玉協同病院の糖尿病治療専門チームを中心にイベントを行いました。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士などの専門職が相談にのりました。
11月6日	埼玉県主催 こども食堂フォーラム	 今年もこども食堂フォーラムにブースを出しました。事業所を使ったこども食堂（現在6か所）や無料低額診療事業をお知らせしました。70名の方に広報紙「けんこうと平和」などをお渡ししました。
11月9日	おかげさまで20年 あさか虹の歯科のあ ゆみ	 あさか虹の歯科は地域を支える歯科医院として開設し20周年を迎えました。開設当時を知らない組合員・職員と開設当時を知る組合員・職員の交流でこの20年の歩みを振り返りました。記念講演は「認知症は口から」と題し中澤桂一郎先生（利根保健生活協同組合の利根歯科診療所所長）にオーラルフレイル予防の講演をいただきました。
11月11日	介護・認知症なんでも相談会	 いい介護の日に介護・認知症なんでも電話相談（社会保障推進協議会と認知症の家族の会で共催）に相談者として参加しました。
11月17日	さいわい診療所・ケアセンターかがやき 建設まつり	 新築移転に向けて地域の方への説明会を開催し、移転先の場所で建設まつりを開きました。1,000人超の参加者でにぎわいました。味噌汁塩分チェックに80名の参加、フリーマーケットにいろんな団体の方も参加していただき、にぎわいました。
11月17日	所沢診療所健康まつり	 今年も自治会・町内会・商盛會・社協・セキ薬局・コープデリ・ワークスコープ・社会福祉法人のみなさまの参加と所沢市観光大使、狭山市観光大使の「JAY'S GARDEN」ライブで会場のボルテージはピークに、過去最多1,200人の来場者でした。健康チェックやフードライブも行いました。
11月16・17日	JAドリームフェスタ (草加市まつばら綾瀬川公園)	 埼玉県生協連・コープみらい・パルシステム・生活クラブ生協と合同のスタンプラリーを行い、スタンプが揃った参加者はお菓子の掴みどりを楽しみました。医療生協さいたまは、握力選手権を行い、2日間で1,030人が挑戦し、盛り上がりました。看護師の健康相談や埼玉協同病院、草加市のケアステーションかしの木をお知らせしました。
11月18日～22日	秋の地域別総代・支部代表者会議	 9会場において秋の地域別総代・支部代表者会議を開催し、総代、支部運営委員など433人が参加しました。上半期の活動と決算の報告、地域の「困った」や「気になること・気がかかり」などを出し合いました。アクセスの問題、高齢化に伴う心身の機能低下や認知症からおこる問題、地域のコミュニティの希薄化とそれにまつわる問題などがだされました。
11月21日	医療者と考える終活シリーズ第5弾 人生の最後に受けた医療、介護とは	 医療者と考える終活シリーズの取り組みにみんなで考える地域包括ケア実行委員会の事務局として参加しています。医師から見た本人の意思表示の必要性（近隣開業医医師）エンディングノートを書いてみよう（埼玉西協同病院総看護長）、具体的な事例（地域包括支援センター所長）のお話がありました。参加者にはエンディングノート（しつこノート）のプレゼントもありました。
11月29日	地域活動交流集会	社会貢献資金を助成している4つの団体と組合員支部の活動の交流を目的とした地域活動交流集会に0名が参加し交流しました。東日本大震災被災地支援活動、重症心身障害児家族支援、原発NO!の取り組み、お元気ですか訪問、フレイル予防の取り組み、青空健康チェック、男の料理教室など多彩な活動で地域の団体と組合員支部と交流できました。

(2) 社会貢献やCSR活動等

台風19号被災支援 12日当日避難者受入れし、ベッドと非常食提供（秩父生協病院福祉避難所がないため2家族8名受け入れ、熊谷生協病院20名自主避難者）。坂戸市は社協をつうじて職員がボランティア支援。

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連や検討状況）

組合員活動推進員制度の試行のふりかえり。
2020年度中期計画作成。

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月 日	会議・催事名称	内容・予定人数等
12月18日	組合員活動推進員 制度学習交流会	今年度試行が始まった組合員活動推進員制度の到達と今後の課題について交流し振り返る。
1月29日	理事研修会	非常勤理事対象
2月14日 ～22日	地域別総代・支部 代表者会議	2019年度基本方針まとめ、2020年度に向けた課題共有。2020年度中期計画作成。
2月29日	法人マネージメン トレビュー	2019年度基本方針まとめ、2020年度に向けた課題共有。2020年度中期計画作成。

(5) 組合員拡大・ 10月 末日現在 （10月31日到着分）

当月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
拡大	脱退	純増	拡大	脱退	純増	
1,064	1,428	-364	5,904	3,109	2,795	233,125

(6) 組合員組織状況 10月 末日現在 （10月31日到着分）

班 数	1,475	サークル数	16
専門委員会数(本部) (支部)		グループ数	8
支部・運営委員会数	158	支部・運営員数	1,187

運営委員会にはエリア会含む。

2、事業報告 10月決算

当 月 度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
2,012,727(千)円	101.7%	13,601,082(千)円	102.9%

この報告書は活動委員会前日までに県生協連に送付ください。fax048-844-8973

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

9～10月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等

生協名	埼玉県労働者共済生協
報告者	塩崎 輝幸

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
9月26日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	<p><主な議題></p> <p>1. 報告事項（理事会）</p> <p>(1) 総合（慶弔）共済事業状況について</p> <p>(2) 二項組合員の承認について</p> <p>(3) 日本再共済連 2018 年度出資配当について</p> <p>(4) 総合（慶弔）共済事業規約の一部改正に関わる認可取得について</p> <p>(5) 理事の退任について</p> <p>2. 報告事項（代表委員会）</p> <p>(1) 2019 年 8 月末事業推進活動状況について</p> <p>(2) 2019 年度 関東統括本部・埼玉推進本部 推進活動計画 進捗報告（2019 年 6 月～2019 年 8 月）</p> <p>(3) 「ろうきんローン専用住まいる共済」推進強化月間（2019 年 9 月～10 月）の取り組みについて</p> <p>(4) 2019 年度 こくみん共済 coop<全労済>セミナー開催報告</p> <p>(5) レインボー・バトン運動「東京マラソン 2020」出走者確定報告</p> <p>(6) 2019 年度「生活保障プランナー フォローアップセミナー」開催報告について</p> <p>(7) 第 3 回代表委員会の開催概要について</p> <p>2. その他</p> <p>(1) ともにつくるゆめ基金（案）について</p> <p>(2) 「2019 年台風 15 号」に関する対応とお願いについて</p>

概況	<p>1. 2019 年度 事業状況について (2019 年 7 月末実績)</p> <p>2019 年 7 月末の事業状況は、総件数 1,090,649 件、総口数 148,058,645 口となりました。対期首では件数で-998 件、口数で-337,862 口となりました。</p> <p>対期首で口数が増加している共済は、火災共済(件数は減少)、自然災害共済、交通災害共済、自動車共済、自賠責共済、慶弔共済です。一方、減少している共済は、団体生命共済(件数は増加)、こくみん共済、長期系共済となっています。</p> <p>2. 2019 年度 共済金支払実績について (2019 年 7 月末実績)</p> <p>2019 年 7 月末の共済金支払実績は、2019 年度累計件数 12,531 件 累計支払金額 2,007,414,118 円となり、対前年同期比 634 件増(+5.33%) 152,435,161 円増(+8.22%)となっています。</p> <p>対前年同期比で支払額が増加している共済は、火災共済、自然災害共済、慶弔共済、団体生命共済、こくみん共済、自賠責共済、個人年金共済、終身共済となっています。一方、対前年同期比で支払額が減少している共済は、交通災害共済、自動車共済、個人長期共済、団体年金共済となっています。</p> <p>3. こくみん共済 coop〈全労済〉セミナーの開催について</p> <p>2019 年 9 月 11 日(木)に 56 団体 89 名の参加のもと、ロイヤルパインズホテル浦和にて「こくみん共済 coop〈全労済〉セミナー」を開催しました。</p> <p>当日はアテネ五輪サッカー日本代表監督・2002 FIFA ワールドカップ日本代表コーチの山本昌邦氏を講師にお招きし、「心をつかむ人材育成術」をテーマに講演をいただきました。また、協力団体での取り組み事例報告(2 団体)と地区運営委員会からの決意表明(3 地区)をいただき、参加者全体で目標達成に向けた意思統一をはかりました。</p> <p>4. 生活保障プランナーフォローアップセミナーの開催について</p> <p>2019 年 9 月 7 日(土)・14 日(土)に 18 団体 23 名の参加のもと、埼玉推進本部 会議室にて「生活保障プランナー フォローアップセミナー」を開催しました。当日は、ロールプレイングによる実践も交え、組合員の保障相談に役立つ知識を習得し、相談対応のスキルアップをはかりました。</p> <p>こくみん共済 coop 埼玉推進本部では「生活保障プランナー養成講座」を毎年開催し、新たな生活保障プランナーを募集しています。2019 年度は 2020 年 1 月に開催を予定しておりますので、ぜひ参加をご検討ください。</p> <p>5. マイカー共済・こくみん共済のキャンペーンと連動した横断旗の寄贈について</p> <p>2019 年 1 月～3 月に引き続き、社会課題の解消に寄与し、安全な社会の実現を目指す取り組みとして、マイカー共済の見積もり件数 1 件につき横断旗 1 本を寄贈する活動を 2019 年 9 月より 12 月まで実施しています。</p> <p>また、こくみん共済についても、関東統括本部域内独自の「たすけあいの輪をむすぶ 新しくなったこくみん共済キャンペーン」を同じく 2019 年 9 月～12 月を展開期間として、成約数 1 件につき、横断旗 1 本の寄贈活動を実施しています。未来ある子どもたちを交通事故から守る活動へのご賛同・ご支援をよろしくお願いします。</p>
----	---

概況

6. 「住まいの共済取り組み強化期間」の展開について

「2019 年度関東統括本部・埼玉推進本部 推進活動計画」にもとづき、9 月 1 日の防災の日を起点とし「住まいの共済取り組み強化期間」を 9 月～12 月に展開しています。組合員の防災意識・備えの実態を調査する WEB アンケートや、契約期間中途での増額・自然災害共済の付帯を案内するツール等の新たな仕組みを活用して、いつ起きてもおかしくない自然災害への万全な備えを訴求します。

なお、「第 1 回労済デー」として、9 月 2 日（月）～9 月 20 日（金）の期間で、多くの協力団体・地区協力員の皆さまにご参加をいただき自然災害保障の必要性を訴求する宣伝行動を実施しました。

7. 2019 年台風 15 号・17 号の状況について

2019 年 9 月 8 日から 9 日にかけて日本列島に上陸した台風 15 号は、関東地方を中心に大規模な被害をもたらしました。被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

この台風災害により、2019 年 9 月 25 日時点での被災受付は 25,000 件を超え、関東統括本部域は 1 号災害として、全国の職員を動員した被災組合員への対応を行っています。

埼玉推進本部においても、9 月 18 日（水）から 1 週間交代で職員を派遣し、共済金の支払いに向けた被害調査を行っています。

こくみん共済 coop では、被災された組合員の皆さまへの対応を最優先事項と位置づけ、総力をあげてお見舞い活動（被害確認活動）および共済金お支払い活動を進めております。協力団体の皆さま方におかれましては、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

<被災受付状況>

※10 月 10 日現在

発災時期	災害名	被災受付件数
2019 年 9 月	2019 年台風 17 号	3,267 件
2019 年 9 月	2019 年台風 15 号	28,120 件（埼玉県内 765 件）

<埼玉推進本部からの派遣状況（11/6 まで延べ 40 班 88 名を予定）>

クール	期 間	派遣人数	派遣先（拠点）	（参考）動員の全体状況
第 1	9/13（金）～9/18（水）	—	—	関東統括本部から 33 名
第 2	9/18（水）～9/25（水）	5 班 9 名	神奈川推進本部（海老名）	全国から 356 名
第 3	9/25（水）～10/2（水）	6 班 15 名	神奈川推進本部（海老名） 茨城推進本部（鹿嶋）	全国から 360 名
第 4	10/2（水）～10/9（水）	6 班 14 名	本部（新宿） 茨城推進本部（鹿嶋）	全国から 372 名
第 5	10/9（水）～10/16（水）	6 班 13 名	埼玉推進本部 （与野・熊谷・川越）	全国から 200 名
第 6 （予定）	10/16（水）～10/23（水）	6 班 12 名	埼玉推進本部 （与野・熊谷・川越）	全国から 360 名
第 7 （予定）	10/23（水）～10/30（水）	6 班 14 名	本部（新宿） 茨城推進本部（鹿嶋）	全国から 360 名
第 8 （予定）	10/30（水）～11/6（水）	5 班 10 名	本部（新宿） 茨城推進本部（鹿嶋）	全国から 360 名

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

11月から12月度

生協名	東都生協
報告者	荒井 伸幸

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（11月13日～12月10日）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
11/20(水) 11/22(金)	2019年度地域コーディネーター研修秋の活動報告と2020年度の活動方針づくり	・上半期地域委員主催企画や取り組み報告 ・グループワーク（団体とのコミュニケーションの取り方等） ・2020年度組合員活動ですすめる取り組み ・わたしのこだわり商品試食・交流
11/30(金) ～ 12/3(火)	2019年度第1回総代会議 総代 598人	11会場（午前9・午後2） 出席総代 357人（前年比102.8%） 会場あたり平均前年比112%、出席率59.7%
12/9(月)	2020年度地域コーディネーター説明会（1会場）	参加7人 1月・2月で別途7会場で開催予定
12/10(火) ・12(木)・ 14(土)	2019年度後期ブロック会計学習会 計4会場（1会場は新任向け）	2019年度収支報告書の作成に向け、会計処理の方法やルールについて学習、確認する場

(2) 社会貢献やCSR活動等

【署名】

- ・『ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名』
7,756筆（web署名130筆含）を「ヒバクシャ国際署名」をすすめる東京連絡会へ送付
（2017年度からの累計28,789筆）
- ・『すべてのゲノム編集食品の規制と表示を求めます署名』 14,155筆（11月6日現在）

【募金】

- ◇台風15号による産地・メーカーへの支援募金状況 13,150,600円（11月6日現在）
- ◇東日本大震災支援募金状況（11月6日現在）
 - ・組合員募金 4,060,441円（うち、2019年度860,400円）
 - ・1点1円募金 1,324,477円（うち、2019年度15,006円）
- ◇未来につなぐ募金（11月6日現在）
 - ・7,921,542円（うち、2019年度2,841,400円、2018年度助成予定額1,800,000円含）
- ◇きょうされん第43次国会請願署名およびリサイクル洗びんセンター支援募金
2020年1/20（月）～3/27（金）

【東都生協「未来につなぐ募金」2020年度助成事業】について

- ・助成の上限額：1団体あたり10万円（税込金額）
- ・助成団体数：2020年1月6日の振替後に確定

【フードドライブ予定】

- ・NPO法人フードバンク八王子えがお（2回目）
- ・NPO法人フードバンク狛江（2回目）
- ・フードバンク調布（2回目）
- ・NPO法人シェア・マインド（2回目）

【るんるんズカフェボランティアスタッフ企画】

- ・企画名：おとな食堂（仮称）オープニングスタッフ食事会
毎月1回開催 さんぽんすぎセンター

【ハンガー・フリー・ワールド（書損じハガキなど回収キャンペーン）】 2019年度も実施する

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

- ・第9次中期計画延長
- ・基幹システム刷新
- ・総代の定数削減の検討

(4) 今後の主な活動予定(次回の活動委員会迄)

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
12/14(土)	農業高校応援リレー米の交流	農業高校応援米利用者と高校生との交流 20人程度
12/14(土)	1日限りの東都商品アカデミー	組合員が友だちを連れて気軽に東都生協の良さを実感できる場。商品知識を学習し自ら商品の良さを語れること ①東都商品学習 ②簡単工作③簡単クッキング 30人程度
2/11(火・祝)	憲法学習会「憲法ってなあに？」から始めよう	講師:小熊竹彦(公益社団法人 生協総合研究所事務局長) 50人程度
2/8(土)・9(日)	おいしさ発見! 北海道 枝幸漁協の海の幸 枝幸漁協女性部との交流会	①「魚つきの森」運動や枝幸漁協、加工工場の紹介②魚クイズ ③魚・ほたての料理方法の紹介・試食④試食しながら枝幸漁協女性部のみなさんと交流 80人程度
2月か3月	商品委員会主催食品表示学習会	食に関する正しい知識を学び、東都生協の商品政策に関する理解につなげる 30人程度
3月7日	「産地・メーカーとの交流会」(新加入者)	新組合員に東都生協商品や生産者のこだわりを伝える場、試食・交流 150人程度

(5) 組合員拡大 10月20日現在

	10月度(単月)					年間(累計)				
	実績	予算比	前年比	予算数値	前年	実績	予算比	前年比	予算数値	前年
センター加入総体	1,179	66.61%	63.83%	1,770	1,847	10,133	81.12%	82.39%	12,492	12,299
We b加入システム	45	64.29%	145.16%	70	31	382	86.82%	149.22%	440	256
他部署加入受付	0	—	—	—	0	0	—	0.00%	0	1
無店舗加入合計	1,224	66.52%	65.18%	1,840	1,878	10,515	81.31%	83.74%	12,932	12,556
都内	938	—	69.84%	—	1,343	8,111	—	88.87%	—	9,127
都外	286	—	53.46%	—	535	2,404	—	70.11%	—	3,429
都外内訳										
埼玉県	76	—	58.91%	—	129	698	—	93.82%	—	744
神奈川県	182	—	49.46%	—	368	1,508	—	60.32%	—	2,500
千葉県	28	—	73.68%	—	38	198	—	107.03%	—	185
員外	1	—	33.33%	—	3	34	—	62.96%	—	54
脱退	980	103.16%	101.55%	950	965	9,362	116.95%	112.58%	8,005	8,316
純増	244	27.42%	26.73%	890	913	1,153	23.40%	27.19%	4,927	4,240

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

地域	9	保育ママ	87人
ブロック委員会数	110/550人	東都人材バンク講師	37人
とーと会数	76団体 492人	ブロックサポーター	250人
サークル数	21団体 89人		

2. 10月度決算

区 分	単 月			累 計		
	実績	前年比	予算比	実績	前年比	予算比
供給高	2,175,869	88.7%	93.2%	17,146,871	96.0%	96.9%
その他事業収入	57,473	98.4%	100.2%	430,464	101.6%	102.3%
総事業高	2,233,342	88.9%	93.3%	17,577,335	96.1%	97.1%
事業総剰余金	576,109	87.6%	91.5%	4,565,211	95.7%	96.5%
事業経費合計	746,779	104.2%	103.2%	5,082,432	100.5%	99.7%
人件費	342,488	100.0%	102.8%	2,394,856	99.3%	101.2%
物件費	404,291	108.0%	103.5%	2,687,577	101.6%	98.4%
経常剰余金	▲ 148,341	421.1%	208.9%	▲ 341,560	305.5%	179.6%
稼働日数	20日	(前年=21日)		152日	(前年=153日)	

※百円単位で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(実績の単位:千円)

事業別供給高

区 分			実績	前年比	予算比	コ メ ン ト
共同購入事業	供給高	単月	2,336,759	101.3%	96.6%	一人当たり平均利用高は前年比・予算比共に大きく割り込みました。 利用人数については新規組合員拡大が苦戦している影響で、累計前年比で割り込んでいます。
		累計	12,106,501	96.5%	97.2%	
	一人あたり平均利用高	単月	5,299	97.8%	88.8%	
		累計	5,374	97.5%	96.7%	
	利用人数	単月	441,017	103.5%	108.8%	
		累計	2,252,806	99.0%	100.5%	
弁当配食事業	供給高	単月	22,487	117.8%	91.9%	前年比で15%以上伸長しているものの、計画（予算）には届いていません。
		累計	119,569	112.2%	95.1%	
生活文化事業	供給高	単月	26,568	122.1%	123.7%	8月度は、チケット事業その他サービスともに予算を超過しました。 （剰余高予算比118%）。
		累計	139,970	104.5%	106.3%	
生活支援事業	供給高	単月	4,654	83.8%	77.2%	8月度単月の供給高は予算比77%、前年比83%と前月に引き続き落ち込みました。 （6月・7月の低温が受注件数に影響しました）
		累計	28,278	95.4%	94.2%	

仲間づくりの状況

組合員数		単月	前年比	累計	前年比	前年比	
9月20日	247,950人	101.3%				出資金総額	6,503,890千円 98.5%
加入	1,223人	65.2%	10,481人	81.4%		1人あたり出資金額	26,215円 95.8%
脱退	1,075人	111.3%	9,414人	111.3%			
純増	148人	16.3%	1,067人	24.1%			
10月20日	248,098人	101.0%					

配食事業 10 月度

		10月度単月			2019年度累計(4月～10月度)		
		実績(千円)	予算比	前年比	実績(千円)	予算比	前年比
供給高	弁当	3,650	84.4%	88.0%	30,102	89.0%	100.7%
	おかず	10,479	91.9%	100.1%	83,834	94.3%	109.2%
	国産応援ご膳	6,076	93.9%	105.0%	49,052	96.6%	112.4%
	冷凍弁当	231	107.9%		1,783	109.7%	
	合計	20,435	91.2%	100.2%	164,772	94.1%	109.6%
配食数	弁当	6,784	84.4%	88.0%	55,949	89.0%	100.7%
	おかず	19,477	92.9%	100.1%	155,826	95.1%	109.2%
	国産応援ご膳	8,655	93.9%	105.0%	69,880	96.9%	112.4%
	冷凍弁当	167	107.7%		1,288	109.6%	
	合計	35,083	91.4%	99.1%	282,943	94.3%	108.6%
延べ登録人数		177,247	125.6%	137.5%	1,157,799	101.8%	125.1%
延べ利用人数		26,385	90.5%	98.1%	212,701	90.8%	104.6%
稼働日		18	100.0%	94.7%	143	100.0%	100.7%
1日当配食数		1,949	91.4%	104.6%	1,979	94.3%	107.9%

(2) 社会貢献やCSR活動等

--

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

--

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
11月29日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	

(5) 組合員拡大 月 日現在

月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	

(6) 組合員組織状況（各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください）

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数	
支部・運営委員会数		支部・運営員数	

2. 事業報告（慶弔共済）

2019年5月末累計		2019年7月末累計	
件数	口数	件数	口数
63,490	237,755	63,866	240,287
		376 件増	2,532 口増